TUESDAY, JUNE 19, 1928 NO. 10288

The Japanese American News

昭和三年六月十九日（火曜日）第一万二百八十八號

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE PROSPECT 238
ENTERED AS S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ANKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES ..... 5 CENTS

UNIVERSITY OF CALIFORNIA LIBRARY

悪夢の如き國

米國大事件の頻出と緊急命令

日米

近頃の日本は、[illegible]事件が多い。曰く共産黨事件、曰く藤瀬の不敬事件、曰く選挙違反事件、曰く大騒動、物騒でもしさうである。然るに此の國は大騒動物騒どもしさうでは[illegible]ない。然るに、それらが何時も、新聞は國民に内容を知らせずして、只其事件の如何なるものかを[illegible]推測するに過ぎない。[illegible]

（1）

[illegible]事件は三月十五日から一斉に検挙の手が擡げられたのであつた。四月十五日迄も記事差止めとなつて、我等海外に居る民は一層好奇心を唆られその内容を知りたがり、中には疑心暗鬼を生じて、益々國民的恐怖症に陥る者も出る。[illegible]

（2）

例の共産黨事件は三月十五日から一斉に検挙の手が擡げられたのであつた。四月十五日迄も記事差止めとなつて、我等海外に居る民は一層好奇心を唆られその内容を知りたがり、中には疑心暗鬼を生じて、益々國民的恐怖症に陥る者も出る。[illegible]

（3）

臺灣の不敬事件は、既に近代の不祥事である。鮮人が我皇室に対し、不敬を働いたことは、今回が初めてである。更に内務省の發表によると、上海に本部を持つ不逞鮮人の一味が、革命陰謀のため、爆弾武器所藏紙幣偽造等をなせるものを五月二十五日逮捕したといふ。鮮人の反逆等は今に始まつたことではないが、我等日本人としては考へさせられる問題である。鮮人がたとへ獨立さへすれば幸福も自由も來ると考へるのは早急に賛成は出來ぬ。日本人と鮮人が融合の道も今は未だ試驗中の問題である。日本としてはその最善の方法をつくすのみであるが、只此の問題の爲めに、果が皇室に及ぼんとすることは、全然我政治家の責任である。

（4）

政府は治安維持法を更に改正して、一層徹底的に社會運動や民族運動を彈壓せんとしてゐる。しかも議會に協賛を得るのでなく、緊急勅令に依らんとしてゐる。刑罰法令の制定は立法事業のうち、最も重大なる無能の罪があつていけない。古來[illegible]なければならぬ。然るに此の[illegible]も重刑を含む治安維持法[illegible]が止まるものではない。その[illegible]に運動が潜行し、[illegible]險性を帯び[illegible]びるのみである。政府の宣傳する[illegible]よりも政治的に賛成し得ない。[illegible]況んや治安維持法には今日無産[illegible]政黨は左翼も右翼も挙つて反對し[illegible]士は五名にしろ過ぐる總選挙に[illegible]民總投票数の一割を集めて[illegible]國民の[illegible]

（5）

我國の今の政治家には法律萬能の[illegible]

（6）

[illegible]法律的主義者は勿論よろしくないが、政府が總選挙に左翼無産政黨を[illegible]理不盡に壓迫したり、暴力團[illegible]用して、國内の治安と秩序を維持するが策らしい

結束を強硬にし 來議會に臨み一擧に 雌雄を決することゝ

決したらしく政府が飽まで噛み付く主義に出づる場合には議會を解散にみちびき總選挙によつて多數を制し最後の勝利を獲得せんとするが策らしい

正金對米爲替は 四十六弗六十二仙五厘

正金銀行は十八日爲替相場を左のごとく發表、對米四十六弗六十二仙五厘、對英一シリング十ペンス十六分の十五

洋上の春洋丸 擊劍會と牛鍋會

十八日朝松平大使一行の乘れる春洋丸發の電報によれば午前中には擊劍會を開き午後は牛鍋會を催したさ（東京時事新報）

駐日支那公使 汪榮寶近く罷免

駐佛公使には程虞秀女史の新任を見んと傳ふ

最初の婦人公使 程虞秀女史を新に 任命する意向らしく

ナンキン國民黨政府は駐外公使の移動を行ふ計畫で現在内定してゐるのは駐日公使汪榮寶、オランダ公使汪顧鈞の両氏を罷免し日本公使に閻徐洪の推し佛國公使には

清朝を倒す革命の際は 朝鮮の大官を暗殺の 爲めに二十歳に足らぬ 少女の身をも顧りみず

爆弾を懐中にしてキンに入り込むなど偉烈を謳はれし後佛國パリーに遊學して法學博士の學位を得た女史は英語にも通じ英佛語の著書も少くない

辭表を撤回して 將介石北京に赴く

故山に歸省になり將介石將軍は十七日午後ナンキンへ帰還し、將介石將軍は各方面よりの留任懇願により不日ナンキンに赴き北伐の善後處置に當るだらうと傳へらる

政界の波瀾を憂へ 全國的遊説はせぬ

フーバー氏の選挙運動はフロント、ポーチ式

（ワシントン十八）共和黨全國大會にて同黨の大統領公認候補に選挙されたフーバー氏は[illegible]補に選挙されたフーバー氏は[illegible]運動を開始すべしと傳へられたが、辭職せず來年の三月四日の任期滿つるまで現職に留まるであらうと、今秋の大統領選挙に成功すればよいが、もし不成功にをはればクーリッヂ大統領とともに下野すると傳へらる、大統領の選挙運動に關し未だ

決定的の 具體案は 發表されて

ないがフーバー氏は多分全國的に遊説するがごときことはなかるべく、もし遊説すれば政界にはフーバー氏の當選を妨みたフト氏が大統領になりたる當時ルーズヴェルト派が大いに怒り政界に波瀾を生じたる同機のごとくフーバー氏は[illegible]

研究十年の結論 万人の信ずるもの

エス・テイ氏の告白

紹介者　獨木舟

（五）

しかし、これ等の宗教の説くところの、いはゆる絶對的の生命、その創造されたところの個々の生命に對して決して敵はあるものではなくて一の慈悲深い力である、合理的に感じるものであるから、彼れ等はこの一種の力に、かれ等の知つてゐる範圍内のもつとも慈悲深い、偶像の衣服を著せて、神は愛、みち玉へる父であるとか、または全智にして慈愛なるみこゝろであるとか言ふのである。また彼れ等は、宇宙的大生命と、個々のわれ等の生命との間に、ある一の自然的相互作用の關係は決して相敵對したり、無意識な冷淡なものではなくて、むしろ一の調和的な喜ばしい關係である、と感じるのである。だから彼れ等はかれ等人間相互の關係の内のもつともつくしみのある、また樂しい關係をさり來つて神と人間との間柄はすなはち父と子の關係であるとか、また、あるひは、慈悲深き守護の師とその子弟の關係であるとかいふのである。そして彼れ等は、彼れ等が知つてゐるあらゆる事實を土臺として、その上に、かれ等が知らない且知ることの出來ないいろんな假想的な念入りの上家を建設するのである

支那出兵と 米國の輿論（二）

須大學院　壽生間

平和的の國のやうだが米國はよく外國に對して干渉をやる國である。自衛のためのモンロー主義が今では干渉のよい口實に使用されてゐるくらゐだ、メキシコを始めとして中米諸小國に對しての米國の干渉には言語道斷なものが多かつた

▲

在墨あるひは在中米日國民の生命財産保護のために米國が出兵したことは數へきれないほどであつたが、はなはだしきに至つては米國はこれ等諸小國の國内政治をも左右せんとして度々出兵してゐる。その出兵たるや實に大仕掛けなもので今回の日本の支那出兵なきは比較にもならないほどのものであつた

▲

現にクーリッヂ治下の米國は一昨年、昨年中ニカラグアの共和國に大仕掛けの出兵をやつてゐる。その云ふところは自國民保護であつたが實際は政治的干渉であつたのだ

▲

こんな工合であるからたとへ單なる花支那日本人の生命財産保護と權利擁護の目的をもつてなされた日本の支那出兵に對しては一言の半句もいへないわけだ

▲

元來國家は秩序を保持し國内の外人を保護しなければならない義務を持つてゐる。支那はさうであるかさいふと政府らしい中央政府もなければ地方官憲も無力同然であるのだ。内亂につぐ内亂をもつてし外人保護の義務をも果し得ない狀態にあるのだ、こんな工合だから支那に居留民を有する國民は自國民を保護せねばならぬといふ國家的根本權利義務に基いて領域の内外を問はず出兵しなければならぬ。また交渉して居留地をも特定し、そこに保護の目的で軍隊を駐屯せしめなければならないのだ。

▲

こは國際法上認められてゐることで日本の今回の出兵もこれにあてはまるのだから何なる聞くいへども更に文句がいへないのだ、米國が云々いはなかつたのも一つはこれがためだ

▲

米國は英國と同じく日本に帝國主義を教へた國である。この教子の日本が支那では常に米國やイギリスを凌ぐの快よからぬ思つてゐる。それで日本の支那政策に對しては常に文句をつけてゐたのだが最近はさうやらこの傾向も緩和されたやうだ

天氣豫報

桑港及附近
六月十九日
晴天
北西風

紐育知事 スミス氏は 民主黨の 大會において

なつてもニューヨーク知事の聽が辭することはなかるべく、それでフーバー氏もワシントンに留まる豫定であるさ觀測され、千九百二十年以來フロントボーチスピーチをして有名になつたスミスは、選挙方法をやり政客を自邸に迎へて會談し時としてラヂオをもつて政見を發表することにするくらいに止めるであらうと目されてゐる

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, Ltd.
SAN FRANCISCO BRANCH 415 Sansome St. Tel. Kearny 1395
LOS ANGELES BRANCH 100 N. Main St. Tel. Mutual 6144-6145
横濱正金銀行
桑港支店
羅府分店
資本金（全額拂込）壹億圓
積立及繰越金 一億六百七十万圓
預金總額 六億五百万圓
横濱各支店定期預金何れも御便利に取扱申候
●日本貨預金 利率＝六ヶ月以上五分
定期（特別扱）
●米貨預金 六ヶ月 利率年四分
定期積金 十ヶ年迄養老積立 六ヶ月毎に利子計入 利率年五分
通知預金 利率＝日歩一錢
當座預金（當座預金には殖高相當なる時は特保護預金に利息御支拂可申候）
●郷里送金（日本全國何れの地へも無手數料にて取扱最近便にて精々勉强仕候）
●外國爲替（貸附、割引、代金取立等一般銀行業務一切至極御便利に取扱申候）

桑港ラグナ街一五五一　電話ウエスト五二一五
日本行汽船切符取扱
並に出稼國可動、再渡
館主　田中利吉
日本ホテル

THE FUJIMOTO SECURITIES CO.
1365 Russ Building
SAN FRANCISCO, CALIF.
TEL. GARFIELD 2728--2729
株式會社藤本證券會社
株式會社藤本ビルブローカー銀行姉妹會社
桑港モンゴメリー街一三五（ラスビルディング一三六五）

SK家具合資會社
家具買入賣出
桑港ポスト街一六三九
電話ウエスト一〇九九

イーストマン コダック
宮眞用材料品各種
瑞穂商會
桑港ポスト街一六三九
電話ウエスト一〇九九

メーン・ホテル
Cor. 6th & M Sts., Sacramento, Calif.
Phone. Main 8610

世界の經濟は如何に動くか
社會學十二講　杉山榮一
哲學と思想　堀江歸一
たんぽぽの家（童話集）　鈴木喜太郎
海から來た使ひ（童話集）　小川未明
實演童話十二集　内山憲堂
江戸賣笑記　宮川曼魚
血粉　長谷川伸
窓展　佐藤春夫
愛慾（戯曲）　武者小路實篤
叢書係

北米の五番堂
698 Post St. S.E. Calif.

THE SUMITOMO BANK, LTD.
Branches {315 California St., San Francisco, Calif. / 200 S. San Pedro St., Los Angeles, Calif.}
THE SUMITOMO BANK of CALIFORNIA
400 L St., Sacramento, Calif.
桑港支店
加州住友銀行
本店 大阪市北濱五丁目
株式會社住友銀行
資本金 七千萬圓
總預金 五億五千貳百萬圓
内地電信、東京、横濱、名古屋、京都、神戸、岡山、門司、小倉、長崎、熊本、久留米、福岡、若松、博多、佐賀、唐津、呉、尾道、廣島、郡山、福井、下關、門司、小倉、若松、博多、久留米、熊本
桑港カリホルニヤ街一九六　電話ドルーピー九六
羅府サンピドロ街二〇〇　電話ドルーピー八一六
羅府エル街西二〇七番　電話メイン一〇七八
本國預金 海外定期 年利五分 六ヶ月毎に利子計算
通知預金 日歩壹錢
郷里送金 取扱迅速手數料無
●營業案内 預送金申込用紙御入用其他何事に依らず御用向の節は遠慮無く御通知下さい

大春堂
THE TAISHUN-DO
1423 KERN ST. FRESNO, CALIF.
現代婦人世界改造五〇
谷崎潤一郎 少年文學全集
家なき娘 昭和三年日本小説集
弗の女身像 破軍星
支那漫談 帝國主義論
レーニン 帝國主義論
明治大正全集 大思想全集
小學生文庫 文藝協會編
小波三重吉集 佐々木指月
行李風著 村松梢風著
●廣島日新聞 毎日 讀者募集 見本進呈
▼百名限の送料共一ヶ月分一、六〇

AKI HOTEL
1651 Post St., S. F.
Tel. West 1116
新築大擴張
桑港安藝ホテル
移民局事項手續
再入國請願手續
現金ポンド手續
出國許可手續

各汽船會社乘船切符取扱
桑港ラグナ街一七〇一（ナター街角）
電話ウエスト二三三五＝二三六
理想的の設備
第一流ホテル
移民局事項手續
再入國請願手續
現金ポンド手續
出國許可手續
加州ホテル

羅府ホテル
羅府東一街三三一番 カドホテル
羅府東一街一二九番 イーグルホテル
羅府東一街三〇五 ニューヨークホテル
北サンピドロ街一一一 太平洋ホテル
南サンピドロ街一二一 オリンピックホテル
117 N. San Pedro St. Tel. Mutual 9869
121 S. San Pedro St. Tel. MEtro 8363
305 E. Second St. Tel. MEtro 5161
129½ E. First St. Tel. Met to 4815
131½ E. First St. Tel. MEtro 7510

日本御料理 小川ホテル
612 California St., San Francisco, Calif.
Tel. Davenport 1815
日本行汽船切符御申込に應ず
桑港パイン街五五一 551 Pine St., S. F. Calif.
帝國ホテル
日本行汽船切符取次
桑港モンゴメリー街一三五（ラスビルディング一三六五）

詳解名詩新選　大嶋鵜水著
藝苑人名辭典　橘宇坤著
切支丹殉教記　松崎實著
深呼吸と心身の改造　小田部博士
書道寶鑑（全五冊）　野田修二著
最新自動車の知識　羽太鋭治著
性愛研究　今井柏浦著
昭和一萬句　野球界增刊
柔道極意教範
夏場所相撲號
青木大成堂
1656 Post St. S. F. Cal. Tel. West 5361

GOVERNMENT DOCUMENTS DEPT.
CALIF. STATE LIBRARY

正しい方向へ一歩を踏出した

ものと州檢事總長日本人の移民制限に就いて語る

（サイクロット十四日）日本のステートメント中に日本人移民に關しての領政府はカナダへの移民數を一年に百五十人限度とすることに同意したとの發表はビー、シー州への東洋人の侵入を阻止するために近年來に採られた最も重要の歩武であるとして州議會では見做されてゐる。當日キング氏が下院において過敏發表したる日本人移民關係の新協定は年々當州へ來る日本人移民の約四百人即八割を減少する物で又東洋人の違法的入國を抑止する新機關を設定したものと信ぜられてゐる。目下當州奥地旅行中の檢事總長マンソン氏は電報でステートメントをよせ來り「新協定は東洋人問題の完全なる解決ではないが正しい方向への一つの重要なる歩武である」としるし、彼は當州政府のために東洋人問題を取扱つた人であるがそと御覧した

日本訪問の前に父母に願つておく

メーバン校長涙をうかべて一日本人少年の美談を語る

（沙港發）近く日本訪問にあたり涙の出るやうな美談がこれのチャパンを見るを樂んで爲ですがありますボーイはこれのベリー、ゲザート學校メーバン史を訪へば武驍探點表でるるベリー、ゲザート學校メーバン校長涙をうかべて語る

「日本訪問まこと夢のやうです日本人父母の御心配を感謝してゐますこの通り生徒等が手製の日記帳やノートブックをつくり手紙をそへて贈つてくれるは何よりもうれしい必ず日本の日記を書いてかへつて來て讀んと勵かせます

日本訪問 に先だつて生徒の父母にねがつておきたいことは夏休み中その子女に對する注意であります父母はヴェケーション中は監督のさいた自由を子供にあたへ殊に健康に注意しつつ健康に注意をくはへて健康回復につとめねばなりません子供が母を助ける美風はかならず涵養せねばならない家庭教育の一條件であります

此の機會

に日本人社會につたへたい一つの美談があります

それは父を失つた十七歳のボーイが母親と六人の弟妹を助けて殊に六歳の不具な妹を看護服の整理はかそれぞれ掃除はかそれぞれ掃親を助ける仕事を當てがつて男子には家庭の責任を教へ男の子相當の仕事をさせることは夏休み中の家庭教育でありますしかし讀書にふけらせ勉強を強ることは殊だよろしく健康を良兒は復につとめねばなりません子供が母を助ける美風はかならず涵養せねばならない家庭教育の一條件であります

コツクとか

掃除とか衣なる食事をさせること女子には必ず家庭の仕事則ち

足が惡るく

歩行がむづかしく困つてゐますこの

病妹を乘せ抱るやうにして病院へ通ひなほして與れるでせうか」

日本人の

父母

願つて

生徒の

日本訪問

日記を

讀んと

日本人父母

日本人父母の内に

生れ變つ

邦人馴染の牧師と稱する

小切手詐欺が横行

重に日本人の團体を訪問して紐育に被害者多し

牧師

日本人

何冊

不在

日本人

多産と

排日家の宣傳

出産率

乘出す

アムゼン

ノビレ少將

救援隊組織

映畫と芝居

ロンチヤニ新畫

日本郵便

日本文の

卒業證書

日本文の

卒業證書

日本文の

卒業證書

女流飛行家 大西洋横斷に成功

昨日英國に到着 「女リンデーの」名

十七日午前九時五十一分ニューヨーク同樂して行つた、同婦人の順番はリンドバーグ氏やチャムバレー氏の三つた飛行路をこつたもので婦人として大西洋を横斷したいのはこの婦人が最初であるる。今回の成功で女リンデーの名を高からしめた。飛行中の無線電によれば非常に順調にすゝみたりソルスに到着するに際しベリーエスター沖に着水して運搬されたものである

大西洋横斷に成功したフレンドシツプ機
〔女飛行士ミス・ヒツチエン飛行士中央、嬢ハトヤ〕

土地家屋所有者の團體設立を決議

共通利益擁護のため 金融機關も新設する

具體案は廿日の會議で

市内邦人土地家屋所有者の第二回集會は日曜日午後桑港日會ホールにおいて催された、この會合は塚本松之助氏の主唱によるもので所有者共同利益擁護のために一致團結しようといふ目的のもとに開かれたもので陸つて出席者も左の所有者のみであつた

財満孫次郎　清水友吉　中井清次郎　安孫子久太郎　馬場精作　鹽田竹藏　久嶋好光　廣瀬孫太郎　村田耕喜太郎　森岡技優　寄志富紹通　木下房市　小泉松遠藤定吉　井上敢次郎　木綿耕之助　小野森之助　谷勇弘田清太郎　三原常五郎

塚本松之助氏集會を開催するについて一場の挨拶を述べ各自の意見交換をなしたが結局左のごとき申し合せをなした

一、邦人家屋所有者によりて團體を組織すること、名稱は研究の上決定なし排日家の誤解をさける樣な名稱を附すこと

二、會員は漸次に勸誘すること、先づ同會の賛成者を最初の會員として成績を擧ゆること

三、會の目的は會員相互の共通利益擁護に意がある故に營業等について一切何はさかの幹旋をなし一種の金融機關を構成すること

四、桑日會の土地所有調査研究會とは別個なる運動を保ち今後もなほ研究その他共にすること

五、規約その他團體設立に關する具體案作製のために七名の委員を擧ぐ

財満孫次郎　安孫子　馬場　鹽田　森岡　塚本

六、次回の集會を來る廿日開催すること

右の如き申合せをなしたが、なほ廿日の集會において具體案を協議し實際運動に着手の筈であるといふ

在日理事會 決議事項

沿岸日會協議會に

滿本書記長出席

在日會理事會は土曜日午後三時より在日會において開催されたが出席者は塚本理事長、青木、柴田の兩理事、滿本書記長であつたが協議事項としては沙港日本人會より申し込の太平洋沿岸諸紐日本人會協議會に關する件並に御出席に關する件、協議會開催について名稱を如何にするかの件、記長を出席せしめることに決定し桑港記念品奉呈についてはより百廿名多く、パチエラー、

須大卒業式

昨日擧行 九百八十八名

須大の卒業式は、昨日メモリアルチャペルにおいて擧行されたが本年度の卒業生は九百八十八名で、北加州は先づこれで打ち、更に八月上旬から布市を中心とする中加州一圓を視察し、その後再び南加に發足するプログラムになつてゐる

盛夏の地方へ けふ出發する總領事

先づ州都でレセプションを 續いて九日間北加再巡覽

井田總領事の管内視察は愈々けふからスタートされる筈で既報のその上のデクローを授けられたる順序となり、今十九日總領事は州都へ赴き、明二十日午後一時十五分からセターホテルにおいて加州知事、櫻府市長、布市商會會頭等有者を招いてレセプションを催し終へて在留同胞の生活狀態、米人との關係、なつぶさに調べ、二十八日歸應まで

山中部日米
ユタ州ソートレーキ市西第一南街一四四
鹽湖支社
奥殿支社
ユタ州オグデン市郵函四三三
(毎火曜日發行)

内田たけ子女史が私塾を開いた經緯

勝手に開設したものでない 立派に日會側の了解を得た

過般開催のユタ日會附屬學園維持費會の席上、寺澤會長は内田夫人の私塾問題につき「常識あるものゝ態度としては内田夫人は私塾開設に当り日會に相談すべきであった」と公然夫人の態度を非難した。これがため世間では一園に同氏の言をじ信てゐるものもあるやうであるが、おは全く

寺澤氏其人の誤解で

内田夫人は最初子供を引うけ前に時の日會教育部長小林佰次郎氏に相談の上、同氏の了解をわたもので寺澤氏が非難するとく日會に相談なく勝手に開いたものでない。それは一昨年中日會學園の教育方針にあきたら長も同様な了解をあたへたとす子供を退校させた某氏が内田あり、内田夫人としては寺澤會夫人にその子の教育をたのんだ長の注意を受くるまでもなく、ときのことであった。然し夫人ゾラと以前に日會に對してとるはオイソレと直にその懇望に應ぜ

日本人會側の責任者

たる小林教育部長に相談したところ、同氏はわざ〳〵夫人の宅を訪れ「學園の改革については自分としても多少意見もないではないが、今日の場合きうすることもお出來兼ねる事情がある故希望者があれば、子供のためですから、二人でも三人でも心おきなく教て下さい」との責任ある明答を與へたのである

内田夫人は此了解に

よつて初めてその兒を引き受けることに決し、その後段々と數が殖へて現在の盛況に進んだものである。小林氏の後をうけた力石教育部長の後を同様な了解をあたへたとの事である。内田夫人の塾は前に日會に對してとるべき順序をふんだ譯である。

櫻咲く日の本のお人形大使來る

基督婦人青年會で大歡迎會

同胞も可成り多數出席希望

日米親善の大使命を帶て昨年一月星の國から八重の汐路を越へて遥々日の本を訪づれた一萬三千のお人形大使一行の答禮として米國を訪ひした五十八個の我お人形使節團は昨冬文部省特派關屋氏の監督下に着桑以來加州各地をはじめ

華村紐育方面で大歡迎を受け

その後西下して大小の都市を訪ひ廿一、二、二の兩日はオグデン市の歓迎會に臨み廿三日當市着同日午後二時半から東ユタ南街三の耕地から今年八百英加に激増し一般に驚目されてゐる。本年

中野愛子嬢、小田君子二嬢の琴踊(三味中島夫人)學園生徒の餘興等もあり廿四日は同會館に陳列して使節團のレセプション、茶話會に臨み廿三日午前十時から同會館にて定の、主催者側では兩日の午後二時半から東ユタ南街三とも同胞側から可成り多數の來會を望んでゐる

上田飯田兩嬢か日系代表委員に

プログラムその他の準備中で、本稿締切までに順序等は未定であつたが、既定の分には飯田ゆり子嬢の「お人形大使」の設問に選ばれ米人側委員と協力して

將來益々有望なユタ州の苺栽培

プロボ市を中心に大發展 冷藏法で年中生苺を供給

ストローベリーの栽培は近年ユタ州各地にひろまり、何れも相當の成績を擧げてゐるが、その中心地は何といつてもプロボ近在で、七年前やつと七十五英加ユタ州内の需要は約百五十エーカーの耕地が今や八百英加に激増し將來ますゝ有望な實績としては絶て東西の市場に出荷され

收穫は寧ろ年作で英加

平均で約一斤の契約値段は一般に驚目されてゐる。本年の

冷藏庫が運輸して

が、之は勿論式な冷藏法により砂糖を利用して畑から運ばれる生苺を色にも香にも變化を起すことなく天然のまゝ大樽へ貯藏し

冷藏法で年中生苺を供給

冷藏庫に貯藏された一大

木村フサエ、同シヅエ(ガニソン)矢野ハツエ(ビンガム)小川美代子(愛州ラバ温泉の九名)の

收穫は寧ろ年作で英加

同マリ子、山本孝之(ヘルバー)浦部氏(ビヤレイ)の

郡部兒童の邦語研究

九名の子供が鹽湖市に來た

ソートレーキ基督教婦人會の兒童夏期學校は後援の下に十五日入學、學校は毎日午前中に新學年を行ひ當日の申込み者六十七名、なほ他に申込み洩れもあれば教室總數は八十名に達する

基金に編入

九名の子供が鹽湖市に來た

郡部兒童の邦語研究

請求者がないので州傷害基金に編入

ユタ日會婦人部の助教師として今度任した若林勤治氏は明治四十五年青山師範卒業、多年果樹栽培の經驗を有し、殊に温厚な師父を思はせる人格の

我國の武士道とスポートマンシップの比較研究の爲めに渡米

新任助教師若林氏の目的

ユタ日會婦人部の助教師として今度任した若林勤治氏は明治四十五年青山師範卒業、多年果樹栽培の經驗を有し、殊に温厚な師父を思はせる人格の

小學校の訓導を勤め、目下東京市の

特別の趣味を有し、現に東京市の

會青年團の陸上競技指導委員で

ある渡米の目的は體育研究である

が、それは選手競技そのものよりも寧ろ我武士道と歐米のスポートマンシップの比較研究で

上陸は神戸經由旅行の費格であるから當市滞在期は極短期であらうこの話しある

學園開校式に領事出席

南愛同胞の教育熱

南愛日會管下のルバート、ジェローム、ブッシャーホール三市の

ローム、ブッシャーホール三市の

ホーム、ブッシャーホール三市の

ホーム、ブッシャーホール三市の

ホー

日本近信　五月二十八日

御羽車奉仕の八瀬童子

百十一名の人選終り　直ちに練習をはじむ

今秋の御大典に際し御羽車に奉仕する百十一名は皇室と關係の深い洛北八瀬村に御下命を決し、たゞちにこれが人選のため鹿兒島宮内書記官、星野掌典、鎌田屬一行は植松内匠寮京都出張所長と共に五月二十七日午前十時より八瀬村役場に出張し、かねて内命により豫選された玉川村長から夫婦および孫六人の一家以下百十一名は小學校々庭に集合し、鹿兒島氏から御下命に至る歴史的經過と訓示があり人選を終はり玉川村長これに答へ引つゞき氏神天滿宮に至り長さ十六尺八寸五分、幅五尺五寸の御羽車の墓の模型なる九十貫の櫃を中心に、四名で舁ぎ天滿宮の石段を東京のプラットホームと假定して練習、數回、續いて八瀬交番所より遠くは古屋構内の一分間の速度、東京、京都の道路を名古屋構内の一分間の速度で、東京、京都の道路を二十二間の速度、東京、京都の道路を二十二間の速度で、東京、京都の道路を二十二間の速度で、東京、京都の道路を二十二間の速度で

フレスノ【七日】

須軍に 大勝

布體軍は

十五對四のスコアー

慶大・フ軍の地二回戦はいたく觀衆を驚かせしめたに反しその前座戰たる須市留守軍とフレスノ青年團の會戦にはなかなかに活氣にみちたものであつたスコアーにおいて十五對四といふ差異をしめしたものゝ安打はフ軍十王府佛教會青年團東同胞平和明成同盟會にて四にたいしス軍の八であり又軍戦時局演說の決議文をたらしにして失策いまさしすくなかりせばかばかりの大敗はなかつたであらうほど留守軍の若殿原本部に會議中こみをりたるが王府佛教會よりはその必要なしとは番職してゐたス軍は北原（五府佛教會よりの出場）と木村・フ軍は新の趣意にて回答ありたるためこの間より中原

サクラメント（十八日）

清風湧く河畔校庭で 青年角力大會

米國生れの子供さんも やつぱり角力は大好き

▲廿五日メリスビル
▲二十六日午後二時チーコ
▲二十七日スースン　パカビル　ナプパ

電報のごとく當地リバサイド河畔青年會主催の基督教團體育會援助のもと昨十七日の日曜午後一時から薄風わく河畔邦語學園校庭でもよほどれた亭々たる柳樹數本緑楯をひろげて炎熱をさへぎつた自然の天幕の下には立派な四本柱の土俵がきづかれ觀客席やその他も驚然として心地よく、その間に青年諸君は愛想よく見物人に應酬し父兄諸君かこれを力けたてたのはそこは靄々然たる顯樂の氣風がうかがはれて夜は學藝會ありて盛會、コーラスの歌声はいつたが十八九の青年の多いのは嫌母しくも心強よく思はれた。しかもその青年や元氣溌剌として龍攫虎搏の肉彫戰に土俵の砂煙をまきあげ觀衆手餘れね面白味があつて、二重三重の黒山の人垣をさりまく觀衆は力ぶを入れて一番ごとに喚呼する。午後三時ごろ河畔青年會を代表して村上教師の挨拶あつて青年諸君から廿四つの血氣さかんの青年角力には

The Largest English Section Published Daily By Any Japanese Paper On This Continent

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

A Newspaper Primarily For American Citizens Of Japanese Ancestry In The United States

NUMBER 10288 | Entered at the S. F. Post Office as Second Class Matter. | SAN FRANCISCO, CALIF., TUESDAY, JUNE 19, 1928 | Copyright 1928 by The Japanese American News | Per Month $1.00 Per Year $11.00

JAPAN

And Things Japanese

Japan and Things Japanese, a section devoted to present-day news and views, and ancient facts, regarding the Japanese people and their country, is a regular feature of the English Section.

JAPANESE ROUND FANS

(Continued from yesterday)

Bunka, Bunsei Eras.

Towards the Bunka and Bunsei eras, round fans were papered with printed pictures as a result of the fashion of genre-pictures and prints. It made them even more fashionable. The fashion frequently changed, and every time new prints came out they adorned round fans and were chiefly actor's portraits, beauties, flowers and birds. As wood-graving grew more and more skillful, such splendid prints as to strike posterity with admiration were produced and they were put onto round fans. Plenty of them were painted by Nakagawa Toyokuni and Utagawa Kunimasa, famous master artist of genre-pictures. These round fans were known as Yedouchiwa and one of the special products of Yedo.

Round fans were made not by artisans but by ashigaru and chugen footmen employed by daimyos who supplemented by it their wages.

Round fans were sold by hawkers in Yedo. Round fans of beauties, and actors' portraits and crests, met the taste of the citizens. The Inaka-Genji (an illustrated story book) shows a fanning instrument like a waterwheel in shape, which quite resembles the electric fan of today, a round fan with a long handle for fanning one in a distance by another, and a very big one for extinguishing fire.

The visit of the American fleet led by Commodore Perry in June, the sixth year of Kaei (1853) awakened the Tokugawa Government from a long dream of peace and changed the country rapidly. Soon the Meiji Restoration came. The taste of the citizens changed too. Round fans of genre-pictures went out of fashion and they were replaced by those written or drawn by literary men and pictured by artists of the Shijo school. These fans are still in fashion.

Round fans are most fashionable in Japan and they have progressed in two different directions, practical and artistic. Their pictures show as marked progress as pictures in general, which have made rapid advance in this country since the Meiji era.

BIBLE CLASS TUESDAY

Japanese Y. W. C. A. will hold a special Bible class Tuesday evening from 8 o'clock at the Japanese Branch on Sutter Street. Rev. Hata will be in charge of the meeting.

EQUAL EDUCATION IS DECLARED REQUISITE OF HAPPY MARRIAGES

Couple Should Also Believe In The Same Religion

(This is the third of a series of articles on problems important to the second generation. The next will appear tomorrow. Readers are invited to express their opinions on these questions.—The Editors.)

"I am not qualified to speak on this subject," Rev. S. Kowta, pastor of the First Reformed Church, modestly replied when his opinion on the marriage question was asked in an interview with The Japanese American News yesterday.

"I think it requires experience to talk on this subject with any authority. But I think it is safe to say that a man must have an established principle. I agree on that matter with Mr. Koike. I believe a man's principle should not change so often, neither should a man be without a principle. One's ideas change, of course, from time to time, but the principle to follow that ideal must be stable.

"About education," he continued, "I am sure that equal education will be the best, and of course the higher the education the better."

When asked his views on the relation between marriage and religion, Rev. Kowta spoke with authority. "The religion of a married couple must be the same if both parties are pious," he said. "Of course those with little religion may get along all right even if they believe in different doctrines. But whether there is real happiness in such a marriage is questionable."

On the question of the marriage of the second generation, the noted pastor said he had heard at the Japanese Association that there was one divorce each week in the Japanese community. "But," he continued, "These figures are without any proof and are not authoritative. In fact I doubt it very much. I do not think there are so many. And besides it is impossible to distinguish between first and second generation marriages.

"We are in a sort of transition period and although there will be more and more second generation marriages in the future, we cannot obtain any statistics on the results of these marriages as yet.

"Perhaps it is because people are willing to tell of their happiness and bright things only, and manage to keep the sad news from the minister, but so far as I have known the second generation matches are very successful. I have yet to hear of a contrary statement."

Rev. Kowta ended the interview by emphasizing Mr. Koike's view that a principle and virtue are the first requirements and education is secondary.

SAC'TO GIRL RANKS FIRST IN SCHOOL

SACRAMENTO, June 16.—(Special)—Miss Toshiko Nakagawa, highest ranking student of Washington Grammar School of Yolo county, delivered an impressive valedictory speech at the commencement held Thursday avening in the school auditorium.

The girl is a sister of Karl Nakagawa, second generation novelist, whose "The Rendezvous of Mysteries" proved exceedingly popular with American readers.

Besides her, two other Japanese students graduated from the school. They are Saburo Imai and Henry Tanaka.

SILK TRAIN OFF RAILS

$2,500,000 Cargo Of Japan Goods Is Held Up

ALAMEDA, June 17.—A special silk train, speeding on a sixty-mile-an-hour schedule from San Francisco to Chicago ,with a load valued at $2,500,000 and a loss of hundreds of dollars confronting the consignees for every hour of the delay, went into the ditch yesterday afternoon at Grainville, near the border of Alameda and San Joaquin counties.

Three of the five cars were demolished and their freight strewn along the right-of-way. Three of the train crew were painfully injured.

Express speed is demanded in silk shipments for three reasons: interest on the bank loans to the growers and shippers; insurance, which is charged for by the hour instead of by the year, and the fluctuations of the market. Specials of this character, with the right of way open far ahead of them, leave San Francisco for the East on the average of once a week.

The freight of this train, which consisted of an engine and five cars, arrived at pier 41 on the Florida Maru of the Yamashita Line shortly before noon and by 12:20 o'clock the five waiting cars had been loaded and the train started down the peninsula for Dumbarton bridge and the main line.

THE WEATHER

Official Weather Forecast:

Tuesday: Fair and Mild. Moderate North winds.

JAPAN BOY IS BARRED FROM U. S. A.

Red Tape Keeps Out Winner In Contest

HONOLULU, T. H., June 10.—(By Mail)—A new illustration has just come to light of the workings of the red tape that surrounds the travel of Hawaiian-born Orientals from Hawaii to the mainland of the United States. Katsuro Miho, born of Japanese parents on the island of Maui, has been chosen as Hawaii's entrant in the national model airplane contests in Detroit, but before he can enter San Francisco, or any other coast port, he must prove his American birth.

Children born in Hawaii, an American Territory, are, of course, American citizens, but further proof is required, ostensibly to prevent the entrance of Japanese citizens into the United States.

Outnumber Orientals

The number of young American citizens of Oriental ancestry outnumber young orientals by about 40 to 1, public schools records show, and the Oriental-Americans desiring to go to the mainland fail to understand why the burden of proof should be placed upon them.

Young Katsuro Miho has a certificate of Hawaiian birth issued by the Territory of Hawaii, but this is not sufficient, the United States authorities hold. Hence his parents must leave their little store in the town of Wailiku, make the overnight trip to Honolulu and appear before the immigration officials here before their young son can travel from an American Territory to an American State.

The object of the hearing will be to determine definitely whether Miho's parents were in Hawaii at the time of his birth. The parents have been asked to produce their old passports an which they entered the United States and any other evidence they may have to prove that the mother was on American soil at the time of the child's birth, the Territorial birth certificate of the child, a series of childhood pictures if any; old school records and other documents bearing on the case.

Case Arouses Interest.

If the immigration authorities, after a hearing of half a day, are satisfied, young Katsuro must have a set of passport pictures taken to be affixed to documents that will allow him to enter the mainland.

This procedure must be followed by nearly all American citizens of Oriental parentage who wish to go to the mainland. In several cases including the case of some graduates of the University of Hawaii who were bound to professional schools on the mainland, the young students have been taken off the ship and held at the immigration station.

Dr. Fred Lam, a Honolulu physician, who had been in Washington on official business, had trouble in re-entering the United States after traveling through Canada on the way home.

Americans of Oriental extraction have for a long time been agitating for a relaxation of immigration rules to permit the acceptance of Territorial birth certificates as sufficient proof of citizenship, and the case of Katsuro Miho has aroused widespread interest.

Governor To Be Host To Ida At Sacramento

SACRAMENTO, June 18.—(Special)—Consul General Morikazu Ida of Japan, who is visiting this part of the State on an investigation tour, will be the guest of honor of Governor C. C. Young at the Hotel Sacramento Wednesday.

A score of other officials of the state will also be present at the affair.

Consul General Ida, since the departure from this country of Ambassador Tsuneo Matsudaira and his family has been on a tour of various parts of California.

BAPTISMAL RITES HELD

Delano Japanese Hear Berkeley Preacher

DELANO, Kern Co., June 17.—Christian Japanese of the district held a baptismal service in the Community Methodist church Thursday night which was attended by approximately 100 adults and children.

Rev. F. H. Smith of Berkeley, superintendent of the Methodist work among the Japanese of the Pacific coast and the western part of the United States, was present and had charge of the service. Rev. Smith spent 21 years as a missionary in Japan and was called home to take charge of this work. He preached an earnest sermon in Japanese and conducted a song service. Four adults and five children were batpized.

Rev. C. W. Botkin, pastor of the local church, led in prayer and Rev. Y. Oshita, Japanese Methodist minister of Bakersfield was present and assisted in the service.

L. A. BOY TO SEE EUROPE IN SUMMER

Winner of 'Y' Contest To Join Party In New York

LOS ANGELES, June 17—(Special)—Shigezane Aratani, eldest son of Ukitaro Aratani, proprietor of the Pacific Printing Co. of this city was to have left on the 10 A. M. Southern Pacific train bound for New York to join the party of twenty "Y" boys who are to leave June 22 on a student's tour of Europe.

Shigezane, the only second generation Japanese to win the privilege of joining this "Y" educational trip, entered a nation-wide essay contest conducted by the Y. M. C. A. and was selected one of the lucky twenty.

The student tourist will arrive in New York, June 21, and will leave for Europe the following day.

The tour is to take twelve weeks.

All Gambling Houses To Be Closed By Russ

MOSCOW, June 7.—(UP)—All gambling houses in the Soviet Union will be closed soon, in accordance with orders issued by the Council of Jeople's Commissars.

In the Soviet capital this decision spells the doom of the "Casino" where roulette and "chemin du fer" are now played nightly. Similar establishments exist in other cities. They are usually conducted by the government itself. It is rumored that through these gambling houses the authorities were able to keep an eye on some types of speculators.

FRESNO LOSES 28 TO 8 TO KEIO VARSITY NINE; MIYATAKE HITS HOMER

Helen Ide To Leave S. F. For Chicago Today

Miss Helen Ide, prominent second generation girl will leave for Chicago at 4 o'clock Tuesday to attend the Chicago Musical College.

Miss Ide planned to leave June 15, but on account of a slight cold her departure was postponed.

Miss Ide is a daughter of a well known local business man. She is a graduate of College of Pacific where she majored in music.

She intends to stay in Chicago for a year.

Local Defense Cracks In The Fifth Inning

FRESNO, June 18.—(Special)—Smashing through the defense of the strong local Fresno Athletic Club, Keio University's powerful ball tossers yesterday trounced the local nine 28-8, in a game featured by the heavy hitting of the visiting varsity players.

The fifth was Keio's big inning. On 10 hits, four walks, two errors and a sacrifice the invaders chalked up 13 runs. Until that time they had a lead of 5-3. The game was played in the local Japanese park and was witnessed by 1,000 fans.

Miyatake of the visiting aggregation walloped a homer over the center field score board with two men on base in the fifth frame. It was the longest hit seen in the Japanese park.

Defense Cracks.

The Fresno Athletic club's trouble came mostly from the hill, but in addition to this its defense cracked soon after Keio started on its scoring rampage. Nine errors were chalked up by Zenimura's crew and all nine had much to do with the scoring.

Murashima, who started, vacated the slab in the fifth inning. Kawasaki, who finished Saturday's performance stayed until the end yesterday. Kawasaki was little better, but there were no other chucks ers to resort to.

Kawasaki in the next four innings was touched for 10 more runs, one coming in the sixth, two in the seventh, six in the eighth and another in the ninth.

Nakagawa Homes.

Captain Zenimura gave the Fresno Athletic club its start in the first inning when three runs were chased across. Zenimura hit Miyitake's first pitched ball for a triple and scored on Yoshikame's sacrifice. Iwata got life being hit by a piched ball. He was forced at second by Kawasaki. Kawasaki scored ahead of Johnnie Nakagawa who hit the ball over the right field wall. Tsukimura doubled but died on first when Tachino filed out to first.

Three more runs were scored in the eighth and ninth innings.

Compared to the Keio sluggers the Fresno Athletic club appeared unpitiably weak. Its defense cracked wide open while its pitching made little more than batting practice for Keio's sharp shooters.

15 GRADUATE SOKO GAKUEN

Ceremony Held Sunday at Buddhist Temple

The fifth graduation ceremony of Soko Gakuen (Bukkyokai Japanese Language School) was held Sunday afternoon from 2 o'clock at the Buddhist Temple Hall on Pine Street Five were graduated from the intermediate school and ten from the elementary school department.

H. Kadawaki presided and Dean Sasaki in spite of his illness delivered an impressive speech and honored the graduates with his presence.

Following Rev. Sasaki, Mr. Kaneko, representing the Japanese Consul General, and Mr. Nishimoto and Mr. Ninomiya all congratulated the graduates and all students promoted at the 13 "Shugyoshiki" (Promotion exercise) held in conjunction with the 5th graduation.

Teruko Yoshimoto and Tomiye Hayashi responded to the addresses representing the Intermediate and Elementary graduates respectively.

After the graduation and promotion exercises the usual "Gakugeikai" was opened by the chairman of the "Dai Nishiki" or the second Party.

Readings and singing by the students and two one act plays "Koman no Otako" or An Arrogant Fellow and "Beikoku no Hokori" (Pride of America) were well appreciated by the audience.

THE ROMANCE OF JAPAN

Through the Ages

By

JAMES A. B. SCHERER

An Interpretative Outline of the Story of Japan from the Introduction of Buddhism in 552 A. D. to the Passage of the Manhood Suffrage Act in 1925.

(Continued from yesterday)

The earthquake caught us at Nikko, where rumor had it that Dai-Butsu himself had been swept away by a tidal wave that poured into his little horseshoe-shaped valley. We left Japan for India, sorrowful over his loss, for the great bronze Friend of Man has a strange way of getting at your heart and holding on to it. In India, needing a thread with which to tie all lands of the farther East together into some sort of unity, we seized on the Buddha clue and then traced it\all the way back from the old Deer Park near Benares through Burma and Siam, Malaya and Cambodia, China and Korea, to its esthetic limit at Kamakura. For we had heard that Dai Butsu still lived! It was wonderful to stand at his feet again after having thought we had lost him. The tidal wave had rushed wildly up to him, laved his feet, and then suddenly receded. For a single fleeting moment he gave the impression that here at last was something human and yet changeless—untouched by time, unmoved even by the most awful convulsions of nature. Then I knew that I, myself, had changed. It may be illustrated in two Western snatches of verse about Guatama, one of which in earlier days used to haunt me and hold me with its condensed epigrammatic criticism.

So, Buddha beautiful! I pardon thee
That all the All thou hadst for needy man
Was nothing, and thy Best of being was
But not to be!

That would be striking, if true. Even a poet of the crystalline sincerity and high scholarship of Sidney Lanier is liable to stumble when he undertakes to make out a case for his own Hero at the expense of all other heroes—which is exactly what Lanier undertook in his remarkable poem of "The Crystal." I had just been to India, had sensed the very soul of the East, had learned something about the real Buddha, and, of course, read my Kim again. So two verses of Kim came rushing to mind and swept criticism away with that tribute, a tribute which is also a warning. When Rudyard Kipling visited the Kamakura he came away knowing the East as no other white man has ever known it, and when he stood with bared head before Dai-Butsu, he was inspired to warn the West against narrowness and judgment and harshness and pride and contempt in verses that are quite as condensed and epigrammatic as Laniers, and far more wholesome—

(To be Continued)

Through Special Arrangement With Publishers

* * * * * * OUR JUNIOR SECTION * * * * * *

TODAY'S NEW MEMBERS

Kimiko Shinagawa, Rt. 8 Maricopa Rd., Phoenix, Arizona, age 11, birthday Feb. 27.

Chizuko Eva Tanaka, M. R. B. Alamosa, Colorado, age 11, birthday Feb. 22.

Taeko Noda, R. F. D. Box 48, Woodland, Cal., age 11, birthday Sept. 10.

Chizuko Inouye, R. 1, No. 122 A, Glendale, Arizona, age 10, birthday, Sept. 10.

Asako Okayabashi, Tolleson, Arizona, age 11 Birthday February 2.

Kimi Nakagawa, Rt. 1, Box 159-A., Glandale, Arizona, age 11, birthday Sept. 22.

Yoshito Yamada, Rt. B. Box 368, Kingsburg, age 11, birth day Jan. 15.

Takeo Shiozaki, 1623 Buchanan St., age 10, birthday June 2.

Yoshiaki Yamada, Rt. B. Box 308, Kingsburg, age 12, birthday Aug. 10.

Hideo Omura, 1627 Buchanan St., age 11, birthday Aug. 10.

Yuki Yabumoto, Anthony, New Mexico, age 13, birthday June 22.

Kay Ishibashi, P. O. Box 583, San Pedro, age 12, birthday May 22.

* * * * * *

Birthday greetings today to Mitomu Tsutsui, of R. F. D. 1, Pharr, Texas. Mitomu became 12 years old. Many happy returns of the day, Mitomu.

* * * * * *

CLUB COLORS

Blue and Gold—16 votes.
Black and White, Red (read) All Over—13 votes
Pink and White—6 votes
Black and Gold, 2 votes.
Total votes—37.
Blue and Gold takes first place in our Club Color contest today by jumping from six votes to sixteen.

Black and White, Red (read) all over, which remained in first position, is now in second place with 13 votes.

Pink and White got two new votes today and is in third position, while Black and Gold, which had no votes up to today, is now in last place with 2 votes.

Those who voted today are:

For Blue and Gold: Mitsu Shimotsuka, Kay Ishibashi, Yuki Yabumoto, Yoshiaki Yamada, Helen Yamada, Yoshito Yamada, Chiyeko Nakagawa, Kimiko Shinagawa, Asako Okabayashi and Chiyeko Inouye.

For Black and White, Red (read) all over: Shizue Saito, Sumie Saito, Shizue Tamura and Ben Oniki.

For Pink and White: Kimiko Amano, and Mary Fugita.

For Black and Gold: Helen Hayashi and Alice Taoka.

* * * * * *

Well, don't you all think that's splendid? We hope we'll have some more votes during the next few days. Write in everyone, because your vote will count a great deal in the final decision.

* * * * * *

Mary Fugita, we're sorry for having said you were 11 years of age, instead of 10. We've made the correction in our files and when your birthday comes on Nov. 3, we'll see that your age is given correctly.

* * * * * *

Kimiko Shinagawa writes in to ask us the last name of Mabel, the member who lost her father and mother. Her name, Kimiko, is Mabel Araki. She is 12 years old and her address is Rt. 3, Box 69, Petaluma. Yes, we think it would be a fine thing to write to her even though you don't know her yet.

* * * * * *

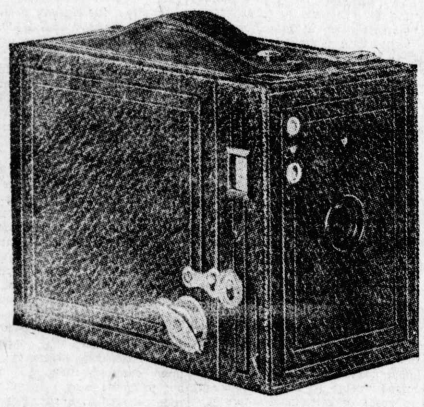
Alice Taoka, whose father has been taking The Japanese American News for seventeen years, sends in this story:

One bright morning in June, as I was walking to town, somebody said: "Say Mrs., say Mrs., your skirt is coming down." I wondered who was saying that, so I looked around but nobody was in sight and besides I never wore a skirt. I had a plain dress on. It was unbearable for me to control my temper so I said, "Who's skirt is coming down?" Then I heard a voice laugh so I looked at the porch thinking that somebody was there. Instead there was a saucy green parrot in a cage, saying, "Ha, ha, ha!"

* * * * * *

That was a splendid story, Alice. If you keep writing about such interesting incidents in your life, you'll soon become a real good writer.

Boys and Girls-- Join The Junior Club



HOW YOU CAN GET THIS CAMERA:

This offer is open to all members of the Junior Club. If you are not already a member, send us your names, addresses, ages and the dates of your birthdays and we will include you among our growing membership.

HERE IS

An Astounding Offer

WE GIVE YOU AN

EASTMAN

No. 2A 2½x4¼ Roll Film Camera

FREE!

ALL YOU'LL HAVE TO DO IS GET TWO NEW 2-MONTHS SUBSCRIPTIONS OR ONE NEW 4-MONTHS SUBSCRIPTION TO THE JAPANESE AMERICAN NEWS WHICH AMOUNTS TO $4.00. Secure either one or two people to sign the coupons below, fill in your name and address, mail or bring in the coupons with $4.00 to our circulation manager, and after verification the FAMOUS EASTMAN CAMERA is yours, absolutely free.

Circulation Manager
The Japanese American News
650 Ellis Street,
San Francisco, California.

Dear Sir: Please enter my order for a ( ) months subscription. I have paid $_____, to _____, a Junior Club member.

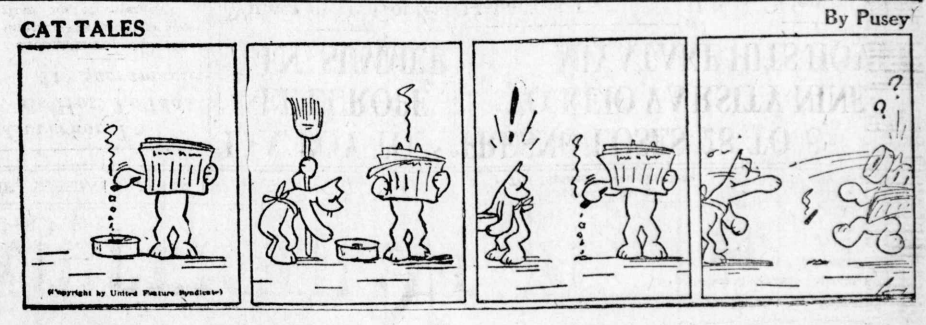
Signed (By Subscriber) _____
Address _____

Order taken by
(Junior Club Member) _____
Address _____

Circulation Manager
The Japanese American News
650 Ellis Street,
San Francisco, California.

Dear Sir: Please enter my order for a ( ) months subscription. I have paid $_____, to _____, a Junior Club member.

Signed (By Subscriber) _____
Address _____

Order taken by
(Junior Club Member) _____
Address _____

CAT TALES By Pusey